

「新型コロナウイルス」の影響に関する アンケート調査（3回目）集計結果

令和3年2月15日



酒田商工会議所

The Sakata Chamber of Commerce and Industry



酒田市

Sakata City WebSite



酒田ふれあい商工会

Sakata Fureai Society of Commerce and Industry

1. 調査概要

- 調査期間 令和2年12月4日～令和3年1月4日

- 調査対象
 - ①酒田商工会議所 会員事業所 1, 865社
 - ②酒田ふれあい商工会 会員事業所 371社
 - ③酒田市商工港湾課 市内事業所
 - (①②重複企業除く市メールマガジン登録事業所35社+10商店街)

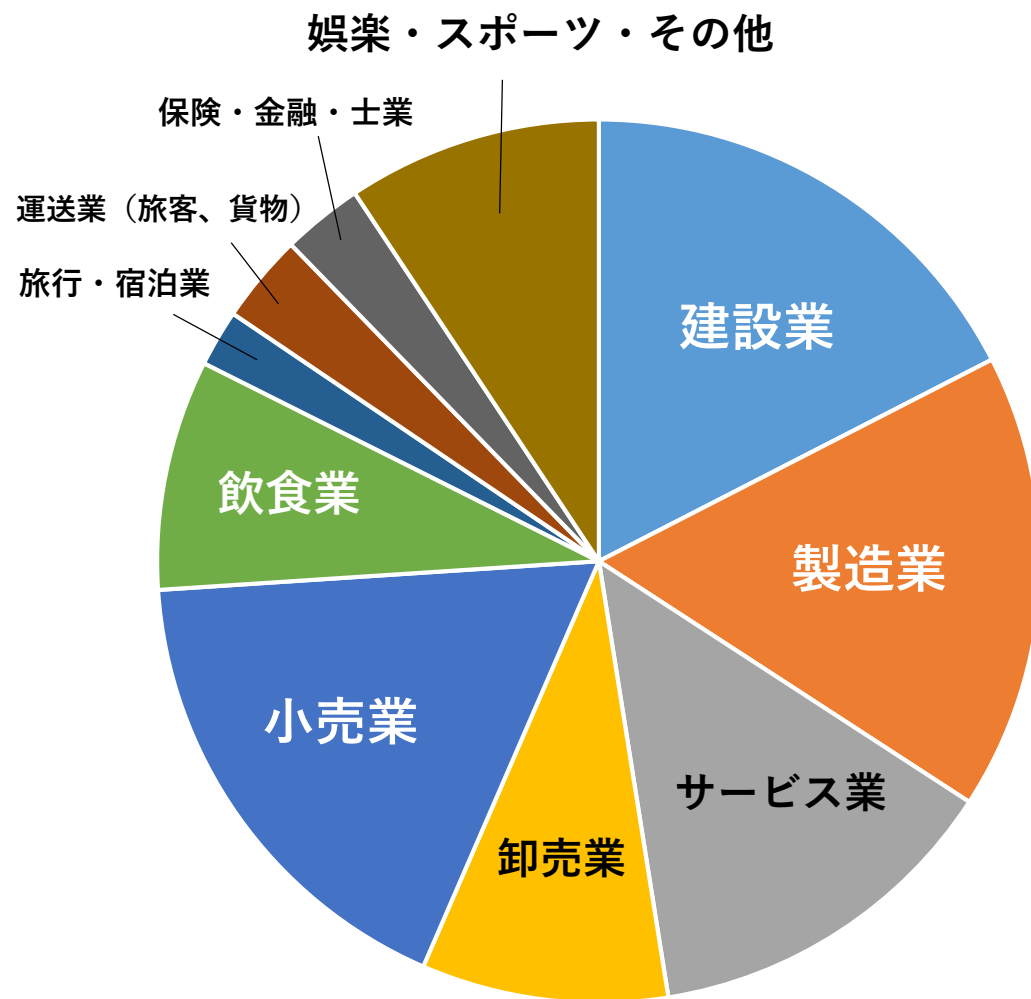
- 調査項目 新型コロナウイルスに関する影響や経営上の対策、必要な支援等

- 調査方法 調査対象事業所へ調査票を郵送またはFAX、メールにて送付

- 回答数 615社 内訳
 - 酒田商工会議所 557社
 - 酒田ふれあい商工会 41社
 - 酒田市 17社

2. 回答企業属性

業 種	回答数	構成比
建設業	101	14.9%
製造業	95	14.1%
サービス業	81	12.0%
卸売業	55	8.1%
小売業	113	16.7%
飲食業	48	7.1%
旅行・宿泊業	14	2.1%
運送業（旅客、貨物）	24	3.6%
保険・金融・土業	23	2.9%
娯楽・スポーツ、その他	61	9.0%
計	615	100.0%



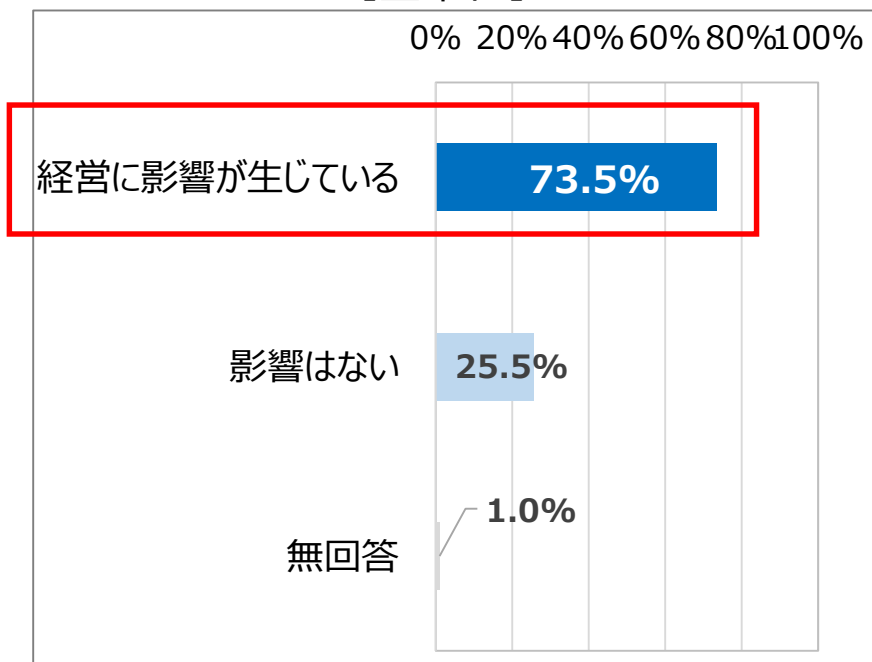
3. 集計結果 (1) 経営への影響について

回答企業全体の73.5%が「影響が生じている」と回答。【前回80.8%】

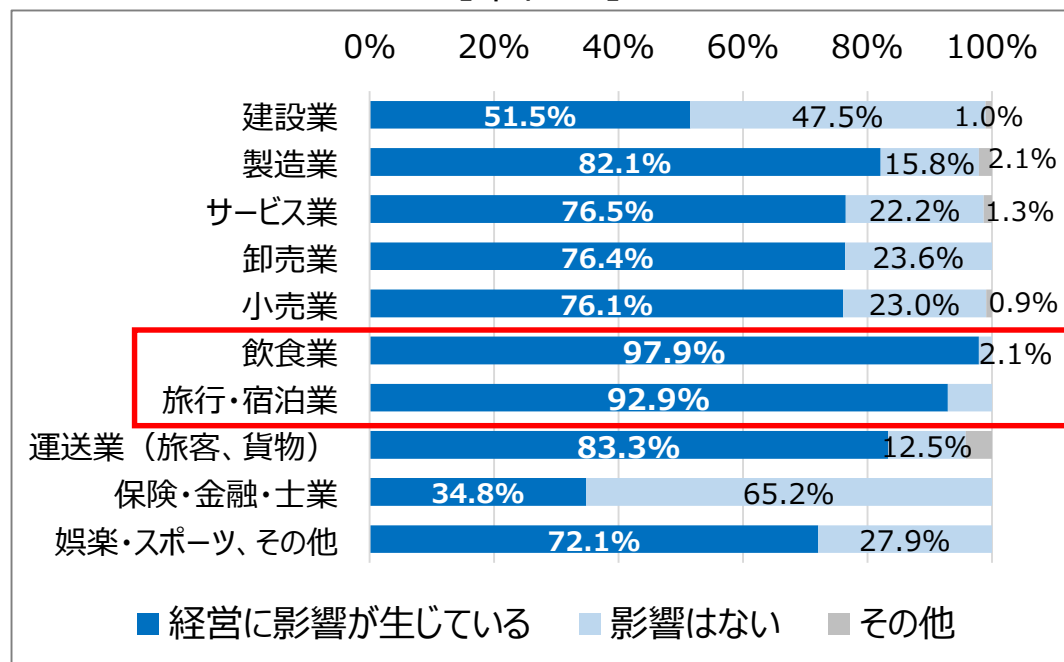
「影響が生じている」への回答が、「建設業」では前回72.9%⇒今回51.5%に大きく改善しているなど、全般的には前回より改善傾向ではあるものの、「飲食業」、「旅行・宿泊業」は9割以上で依然として高止まりが続いている。

「製造業」、「運送業」も8割以上であり改善が見られない結果となった。

【全業種】



【業種別】



3. 集計結果 (2) 具体的な影響について (※複数回答可)

回答企業全体の48.7%が「売上の減少」と回答。【前回43.9%より4.8ポイント増】
コロナ禍が長期化していることにより、ほぼ全ての業種で売上減少の影響が広がっている。
(参考：建設業17.6ポイント増、サービス業8.4ポイント増、運送業10.1ポイント増)

【全業種】

売上の減少 **48.7%**

製品・サービスの受注減少... 21.7%

資金繰り悪化 7.8%

供給への打撃 2.6%

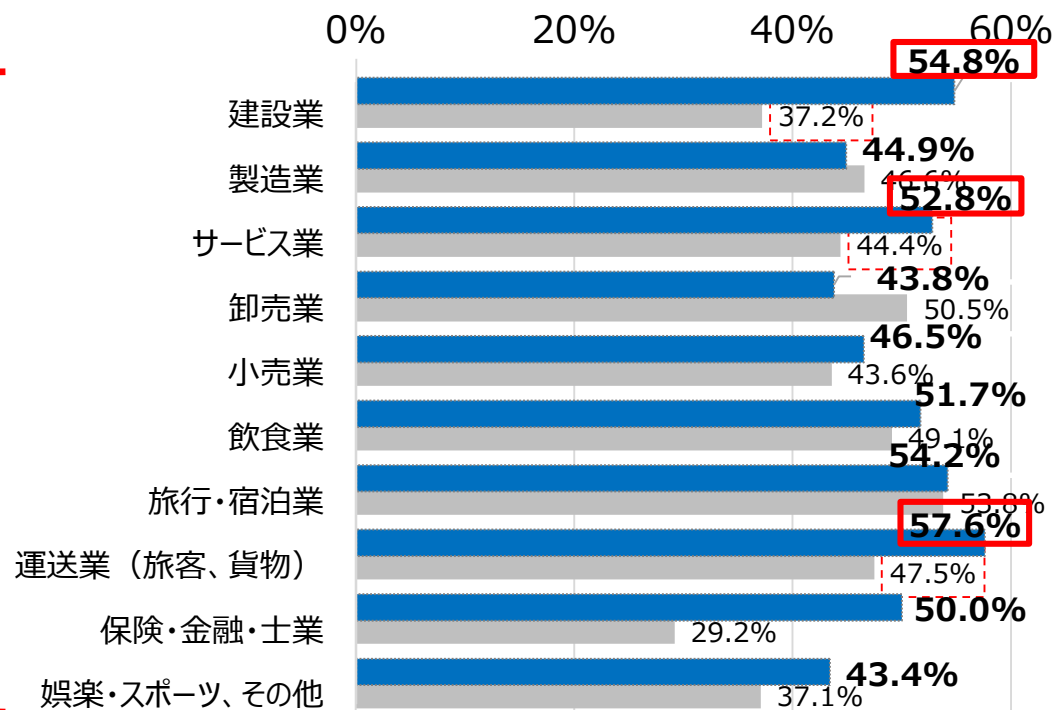
受注・販売機会喪失 12.9%

雇用維持 3.1%

その他 3.1%

「売上の減少」と回答した各業種の割合

上段...今回
下段...前回

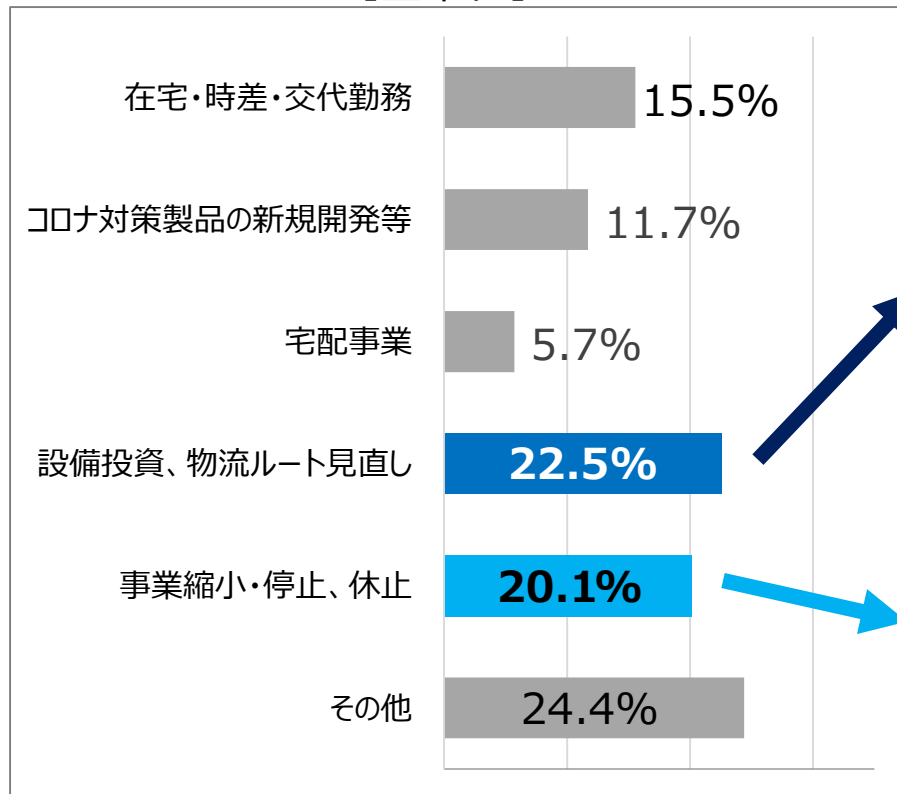


3. 集計結果 (3) 経営上の対策について (※複数回答可)

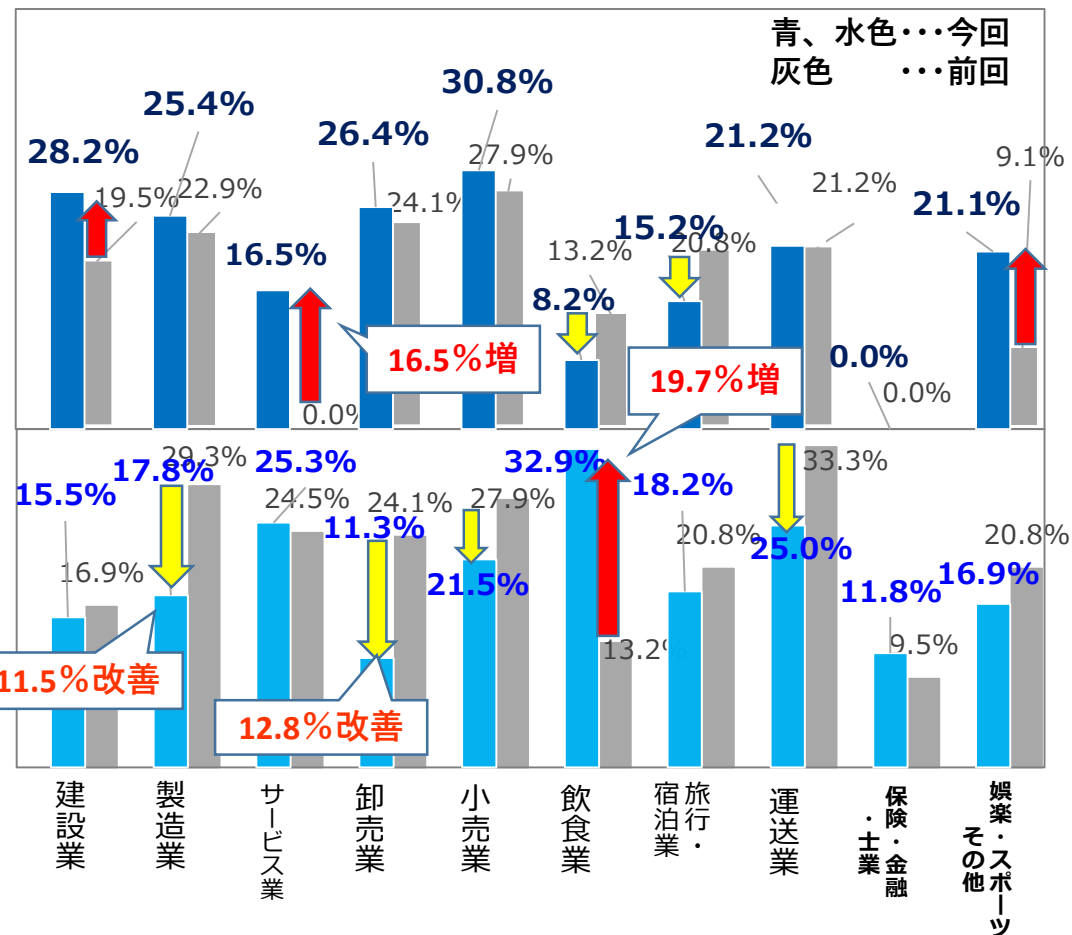
「設備投資計画・仕入れ・物流ルートの見直し」が前回18.0%⇒今回22.5%。特に、「サービス業」では前回0%⇒今回16.5%に増加した。

「事業縮小・停止、休止」は前回22.5%⇒今回20.1%に減少し、やや改善の兆し。業種別では「製造業」、「卸売業」、「小売業」、「運送業」が改善した一方、「飲食業」は前回13.2%⇒今回32.9%へ大幅に悪化した。

【全業種】



【業種別の回答割合】※複数回答可

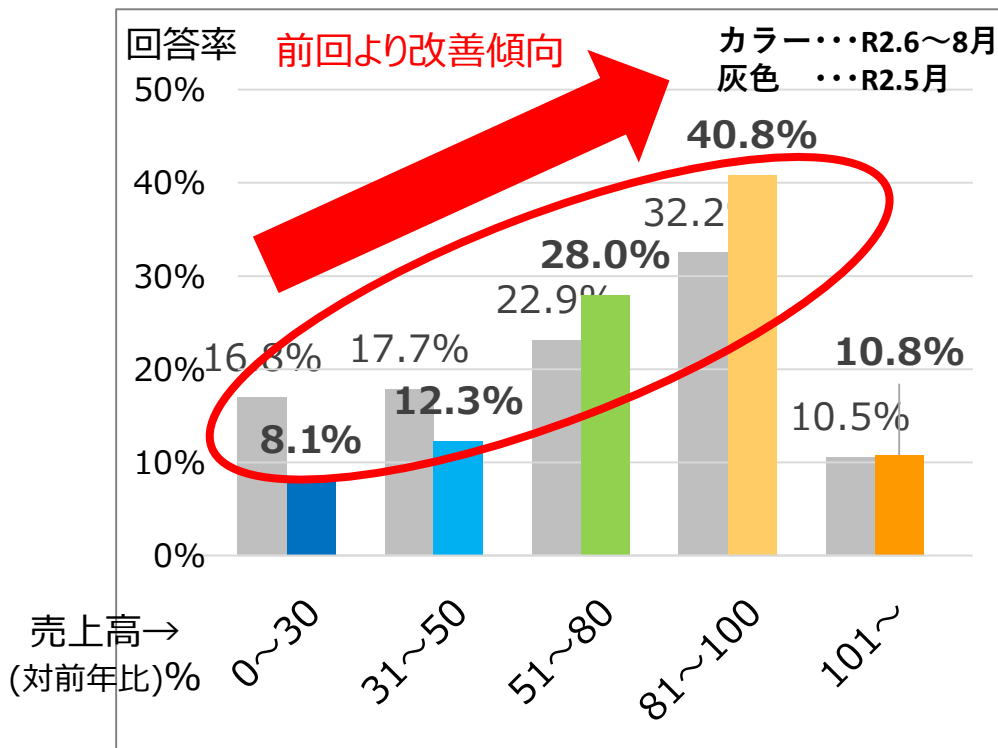


3. 集計結果 (4) 令和2年6～8月の売上高について

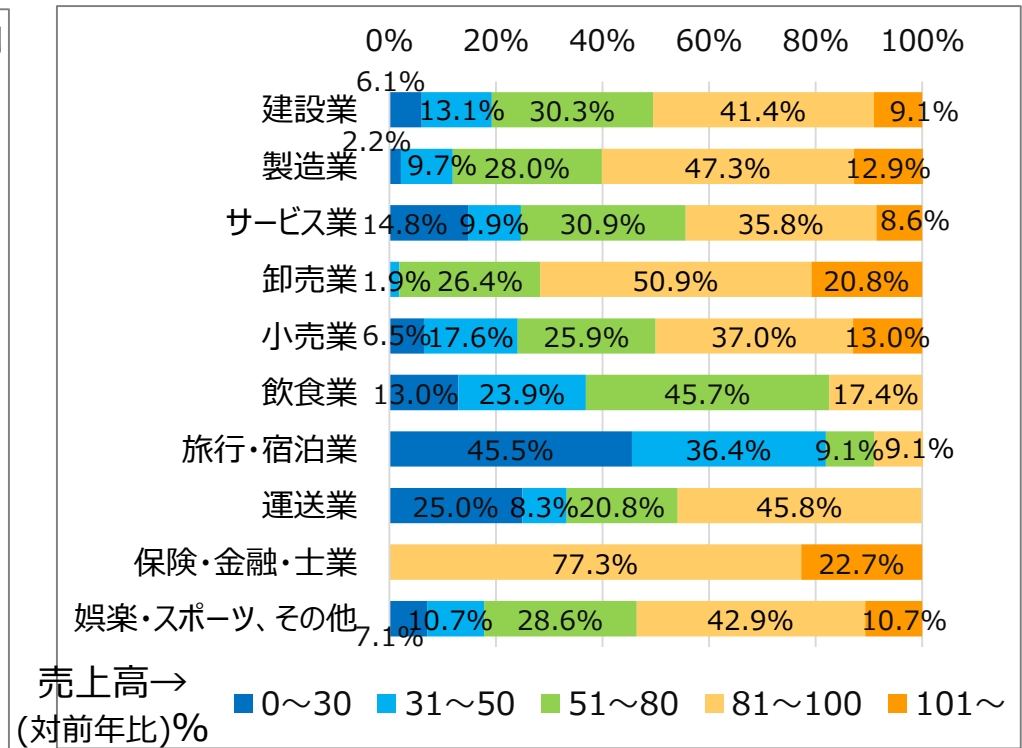
売上高について、「0～30%」が前回16.8%⇒今回8.1%、「31～50%」が前回17.7%⇒今回11.9%に減少するなど、4～5月の緊急事態宣言の影響を受けた前回調査時から状況が好転している。

但し、業種別では、前回「売上50%以下」が74.6%を占めていた「飲食業」が今回36.9%に大きく改善した一方、「旅行・宿泊業」では売上50%以下が前回71.4%⇒今回81.9%により悪化しており、明暗がはっきり分かれた。

【全業種】



【業種別】

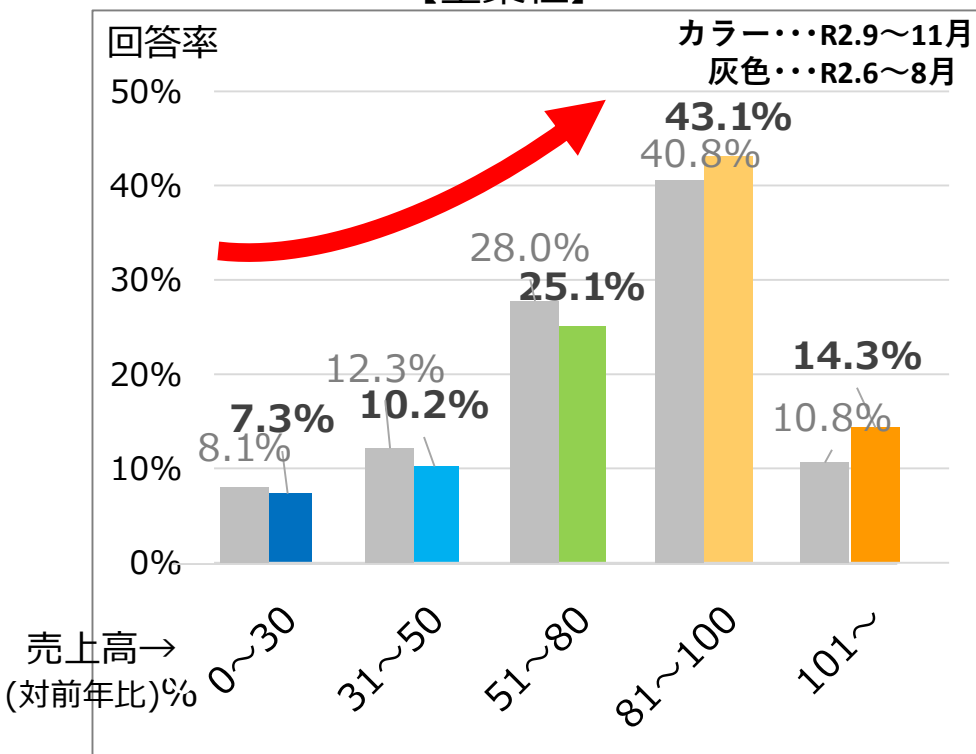


3. 集計結果 (5) 令和2年9～11月の売上高について

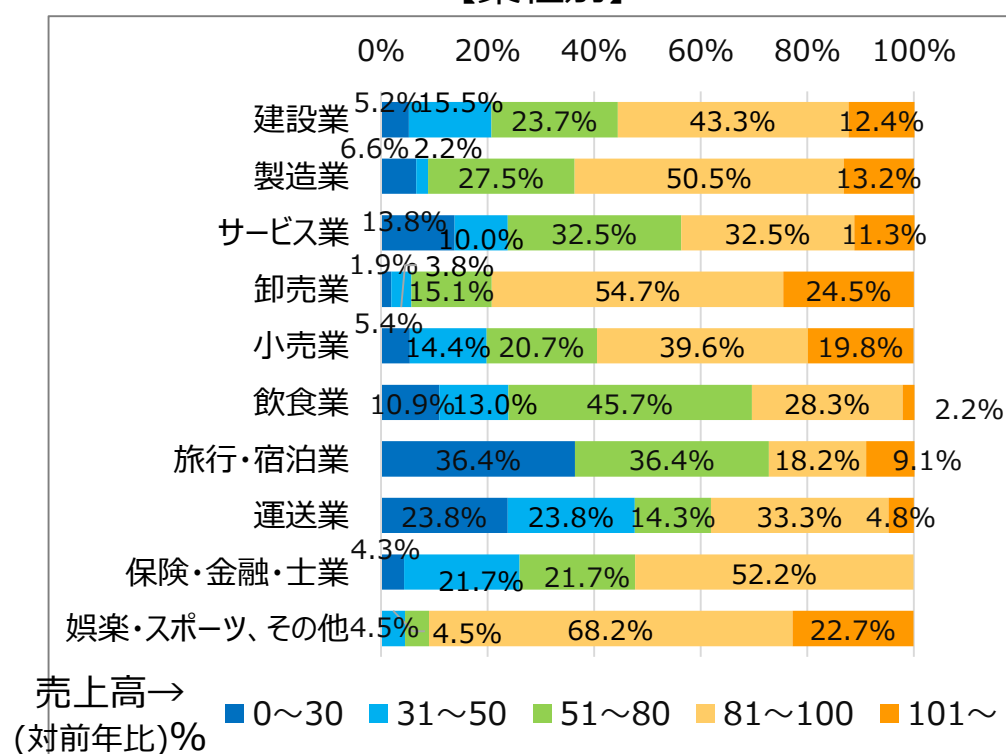
全体的に、「6～8月分の売上高（前ページ参照）」と比較して緩やかに回復している。

特に、「卸売業」、「小売業」、「飲食業」、「旅行・宿泊業」で改善傾向が顕著。新型コロナの新規感染者が一旦落ち着いた時期と重なり、一時人の流れが回復したことや、令和2年10月から実施したPayPay30%還元キャンペーン等の効果が後押ししたものと推察される。

【全業種】

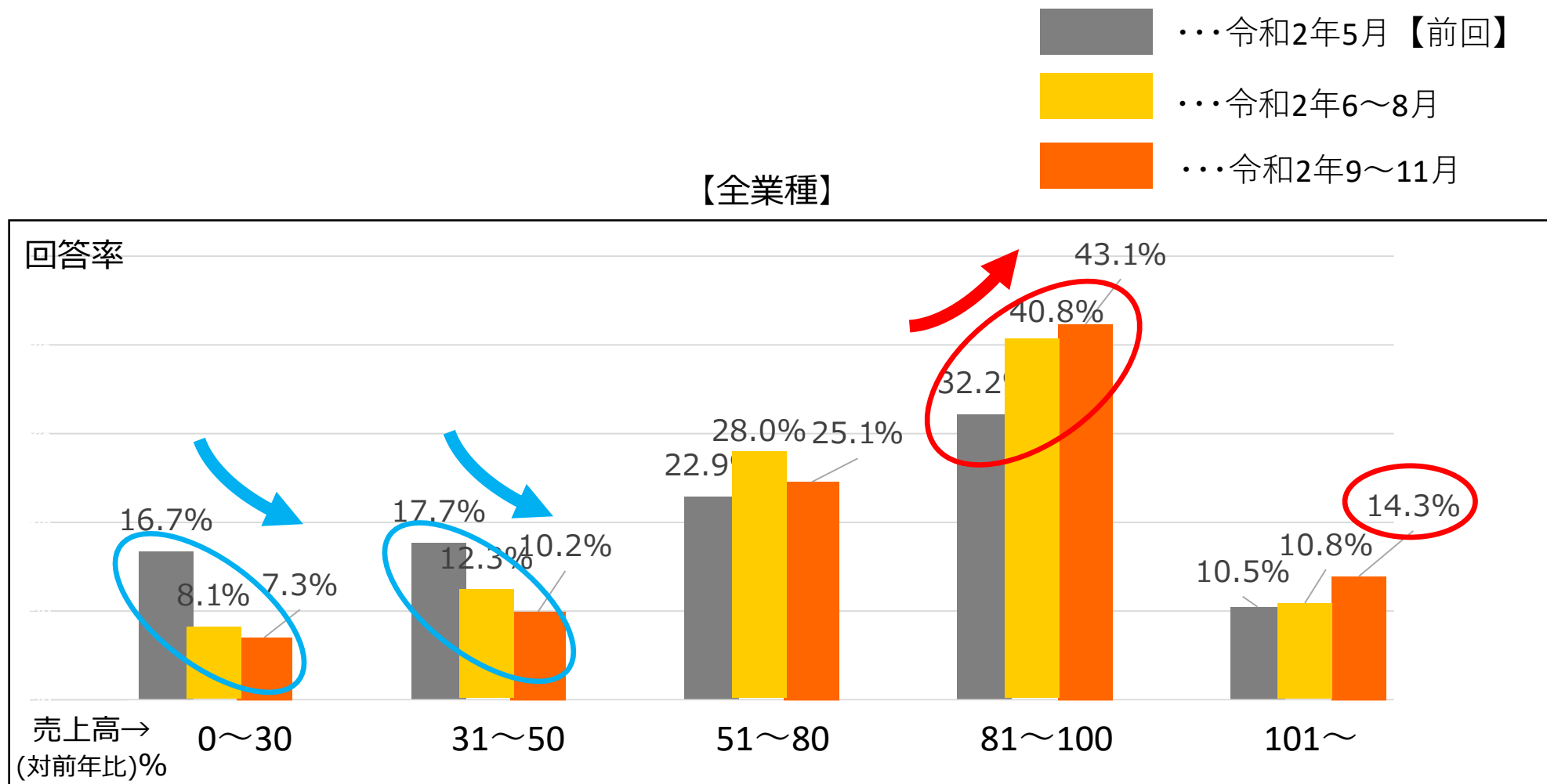


【業種別】



3. 集計結果 (6) 令和2年5～11月の売上高比較について

令和2年5月～11月までの売上高推移を比較すると、下記グラフのとおり、「0～30%」、「31～50%」が減少した分「81～100%」の回答が増加しており、改善傾向が見られる結果となった。

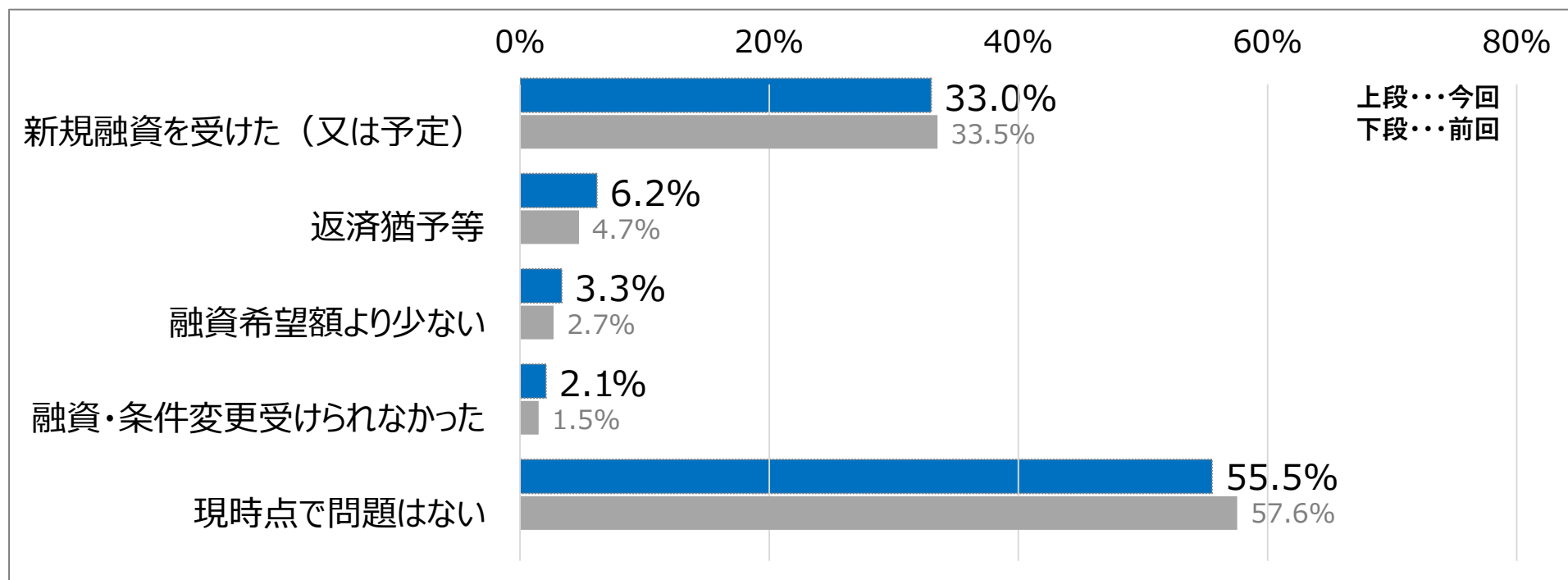


3. 集計結果 (7) 資金繰りについて (※複数回答可)

前回調査と同様、「現時点で問題はない」が過半数を超え、その他の項目についても大きな変化は見られなかったが、新規融資を受けた事業者が依然として3割を超えている。

「取引先の低迷により自社売上が落ちているため、返済していけるか不安」等のコメントも見受けられ、コロナ禍が長期化していることにより、今後多業種に渡り同様の問題が懸念される。

【全業種】

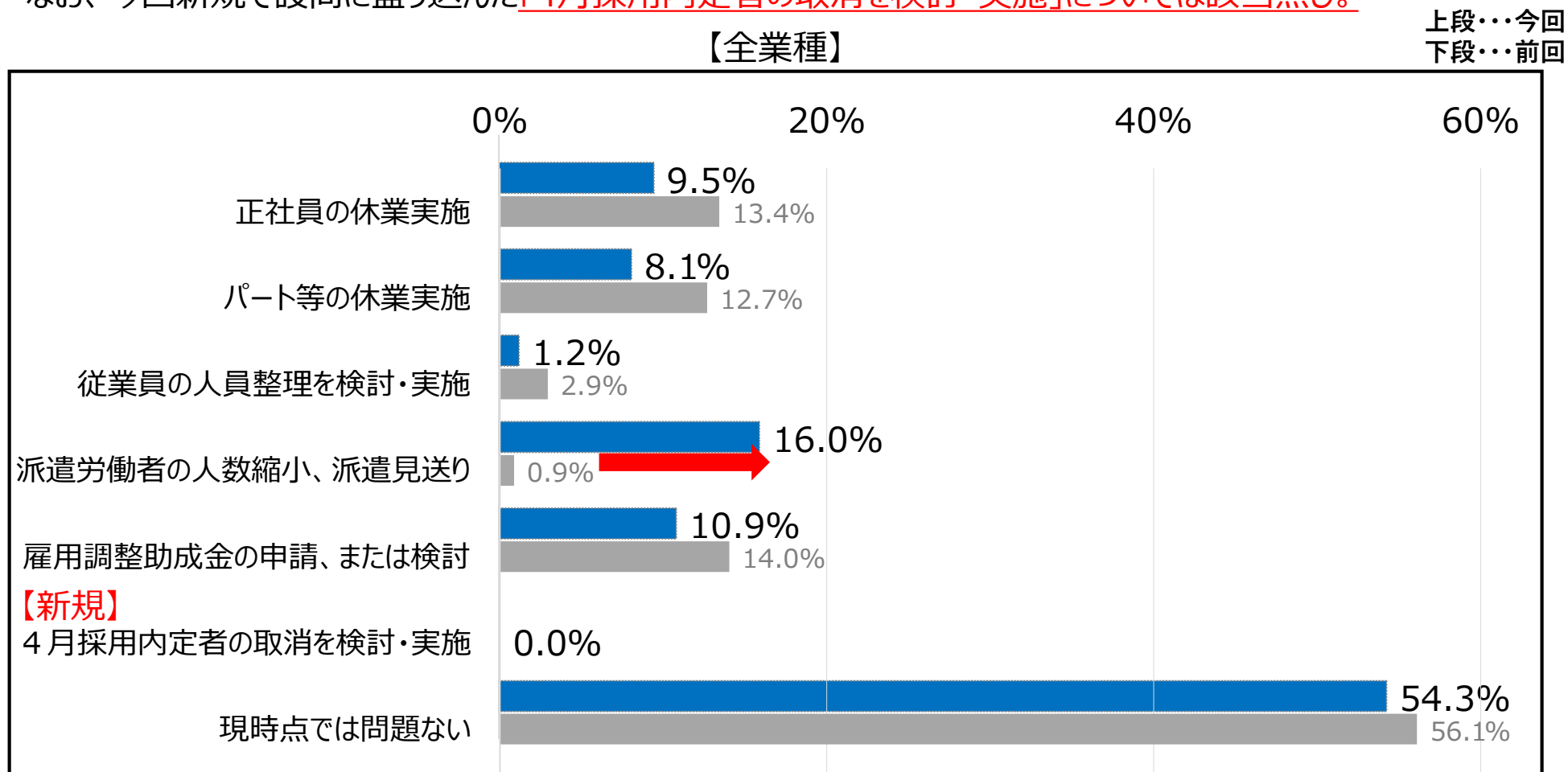


3. 集計結果 (8) 雇用に関して (※複数回答可)

雇用に関しては、全体の54.3%から「現時点では問題はない」との回答が得られた。

「正社員の休業実施」は前回13.4%⇒今回9.5%に減少、「パート等の休業実施」が前回12.7%⇒今回 8.1%に減少している一方、雇用の調整弁として「派遣労働者の人数縮小等」が前回0.9%⇒今回16.0%へ大幅に増加している。

なお、今回新規で設問に盛り込んだ「4月採用内定者の取消を検討・実施」については該当無し。



前回の調査同様、「市独自の経済対策」を望む回答が23.4%と高い。

「PayPayポイント還元の延長」、「Paypayの酒田市還元セールは効果があった。今後延長を希望します。」等、PayPay30%還元キャンペーンへの感謝や延長を望むコメントが多数見られ、相当程度の効果があったことを確認することができた。

【全業種】

上段・・・今回
下段・・・前回

